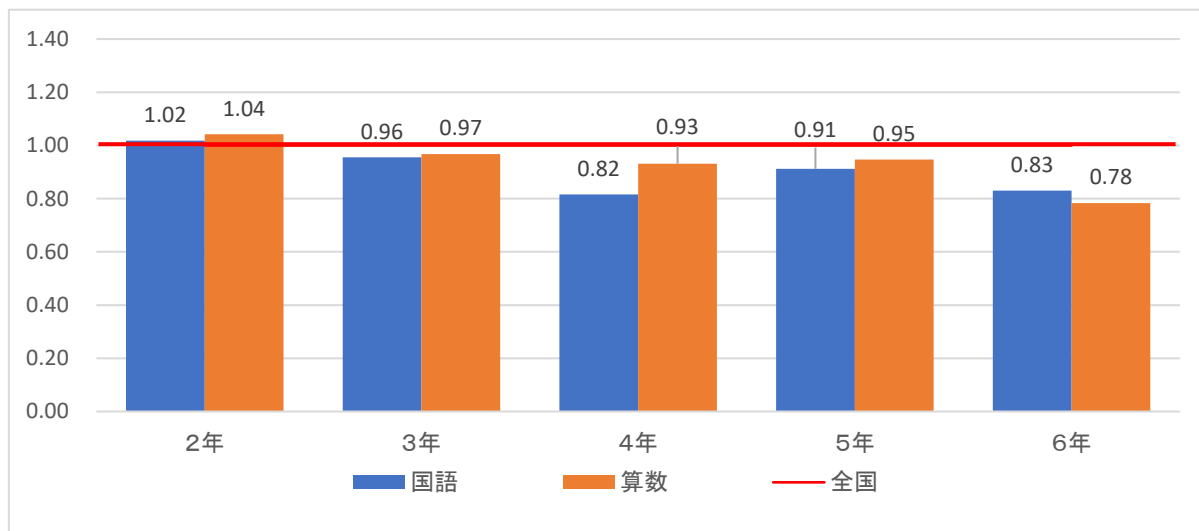


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第八中学校区 点野小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	「書くこと」領域では正答率が良好であった。「話すこと・聞くこと」領域では、課題が見られるため、言語活動を充実させると共にディベート教育と関連させ、表現力の育成を図っていく。
	算数	「知識・技能」においては正答率が良好であった。基礎学力定着のため家庭学習ノートの取組を充実させる。一方、課題であった「図形」領域を克服するために、具体物の活用やICT教育をさらに進めていく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	「情報の扱い方に関する事項」が、全国平均に近い結果であった。「書くこと」「読むこと」領域と記述問題では課題が見られるため、読書活動や作文等の表現力を養う活動を充実させる。
	算数	「数と計算」領域の基礎学力は一定の向上が見られるため、今後も少人数指導の充実に努める。「変化と関係」領域や記述問題に課題が見られるため、タブレットPCの活用や学習課題を身近な物の事象と関連づけるなど、工夫した授業を展開していく。
	質問紙	「将来の夢や目標を持っていますか」の設問において、肯定的な回答の割合が全国平均を上回った。今後も小中一貫したキャリア教育を推進していく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

家庭学習の定着化を図るため、自主学習ノートおよび宿題プリントの共有を行う。「個別最適な学び」を推進するために、個々の習熟度に合わせた教材の提供を行い、自らの課題に応じて主体的に学ぶ力の育成を図る。

【 学 校 】

少人数授業や複数教員によるきめ細かな指導の実施、放課後学習会や個別指導などのサポート学習の拡大により、基礎基本を着実に定着させていく。また、高学年を中心とした教科担任制を実施し、専門性の高い教科指導を更に充実させていく。